

けいびょうニュース

vol.20
2012

けいびょう写真館

恒例となりましたクリスマスコンサートが、12月3日（土）に開催されました。

今回は住吉吹奏楽団の皆様をお招きし、馴染みのあるクリスマスソングを中心に全11曲の演奏をご披露いただきました。今回から、エコロジーガーデンにツリーと電飾も施され、患者さんやご家族の方には、一足早いクリスマスの雰囲気を感じていただけたのではないかと思います。



contents

- クローズアップ 『大阪警察病院附属人間ドッククリニック
～小杉センター長就任のご挨拶～』
- 医療トピックス 『腹腔鏡下手術って？
～より体に優しい、新しい低侵襲手術「傷跡が目立たない手術」～』
- 診療科紹介 『眼科』
- 専門外来紹介 『産婦人科 ウロギネ外来』
『耳鼻咽喉科 補聴器外来』
- 市民公開講座より 『B型肝炎・C型肝炎の治療について』
- KEIBYO INFORMATION
『医療安全推進月間を実施しました』
『分娩早期予約割引制度のご案内』

大阪警察病院附属人間ドッククリニック ～小杉センター長就任のご挨拶～

ごあいさつ

昨年11月に大阪警察病院副院長・内科統括部長と兼任で附属人間ドッククリニックセンター長に就任しました小杉 圭右です。専門は生活習慣病、なかでも糖尿病、高脂血症、動脈硬化症などで、当院内科でも診療していますが、日本人間ドック学会認定の専門医・指導医でもあり、人間ドック担当となりました。



副院長（内科統括部長）
附属人間ドッククリニックセンター長
内分泌・糖尿病内科 専門医・指導医
こすぎ けいすけ
小杉 圭右

附属人間ドッククリニックのご紹介

附属人間ドッククリニックは人間ドック専用施設として平成16年に上本町六丁目に新設され、充実した検査機器と優秀なスタッフで各種検診業務を行っています。

皆さんは、病院で診てもらっているのだから、全身くまなく診療してもらっていると、誤解されてはいませんか？残念ながら、外来・入院治療にかかわりなく、時間的・経済的理由から、内科においてすら治療している疾患のみにしか目がいかないのが現状です。隠れている疾患も早期発見しないといけないと思うものの、診療している臓器（例えば、心臓、肺、肝臓、胃腸など）は、現に疾患として治療しているものに限られており、思わぬ見落としはとて気になります。

症状がなく、治療している以外の疾患は大丈夫だと考えておられても、年1回は人間ドックで全身の検査をされることをお勧めします。過去に多くの方が、人間ドックを受けていただくことで、新たな疾患（主に早期ガン）が見つかり、命拾いをされています。

病気は、症状が出る前、つまり早期に発見し、出来る

だけ早期に治療することが大切です。

人間ドックは、健康保険は効かないし価格が高いためから受けたくないという方もおられるかと思いますが、しかし、疾患の発見・治療が遅れば、最悪なら死に至ること（手遅れ）や、後遺症・合併症などがひどくなり、生活の質が大きく損なわれることもあり、支払わなければならない費用も膨大です。

定期的に人間ドックで全身の検査をしていただくことを強くお勧めします。できる限り能率的に、快適に検査を進めさせていただくとともに、新たな疾患が見つければ、当院の当該診療科もしくは希望の医療機関に紹介させていただきます。

当院人間ドックを希望される方は、1階ロビーにある総合案内や各科外来におたずねください。パンフレットも準備させていただいています。また当院に受診していただいている患者さんには割引特典（一部を除く）もありますのでご利用ください。

ご予約について

インターネットからも
ご予約いただけます！

- 24時間ご予約可能
- 空き状況を確認できる
- 2名同時に検索できる

ホームページ
<http://www.oph-dock.jp>



↑ホームページトップ

アクセス



腹腔鏡下手術って？

～より体に優しい、新しい低侵襲手術
「傷跡が目立たない手術」～



外科
おおもり たけし
医長 大森 健

外科専門医
日本内視鏡学会技術認定取得

● 単孔式腹腔鏡下胃切除術

開腹術と同等の手術をより小さい傷で行う腹腔鏡下手術（小さい穴をあけて行う手術）は、術後の痛みや体への負担を減らし、早く退院でき、早く家庭復帰や社会復帰できるといわれています。当院では腹腔鏡下手術を積極的に行い、胆嚢摘出術、ヘルニア根治術などの良性疾患や、胃がん（年間約 120 例）、食道がん、大腸がん（年間約 180 例）などに対しても安全に行っております。

近年、低侵襲性、整容性（見た目の美しさ）をさらに追求し、単孔式腹腔鏡下胃切除（Single Incision Laparoscopic Surgery：SILS）を行っています。従来の腹腔鏡下手術では 4-5 か所の穴から手術を行うのですが、単孔式腹腔鏡下手術はそれらの穴をおへそに集め、切り取った病変を取り出すための 1 つの穴からだけですべての手術を行います（図 1）。手術の内容は同じですので、傷が少ないことは大きな利点となります。更に、おへそに創を持って来ると、傷跡はほとんどおへそに埋もれて見えません（invisible scar）（図 2）。中には「ホントに手術をしたの？」といわれる患者さんもいるほど、極めて「美容的に」も素晴らしい手術で、満足度も高く、病気を抱えた患者さんへの精神的負担も軽減できると考えています。

図 1



図 2



この手技は非常に高度の技術を必要とします。普通の病院ではなかなかできません。当院は従来から低侵襲で体に優しい内視鏡手術の沢山の経験と高度の技術を持っており、多くの患者さんに、より安全で、より確実にこの術式を受けて貰えるようになってきました。この魅力的な手術をすると良い適応も決まっています。詳細をお知りになりたい方は当院セカンドオピニオン外来を受診されるか、または外科外来までご連絡ください。

【セカンドオピニオン外来】 電話：（直通）06-6775-2863 メール：shoukai@oph.gr.jp

【外科外来】 電話：（代表）06-6771-6051

眼科

対応疾患

- ・ 白内障手術
- ・ 緑内障の診断及び治療
- ・ 糖尿病網膜症の診断及びレーザー網膜光凝固治療
- ・ 網膜硝子体疾患（糖尿病網膜症、硝子体出血、黄斑円孔、黄斑上膜など）の診断（光干渉断層計など）及び硝子体手術
- ・ 眼循環疾患の診断（フルオレセイン・インドシアニンググリーン蛍光眼底検査、眼窩ドップラー、頸動脈エコーなど）及び治療
- ・ ぶどう膜炎の診断及び治療（ケナコルト・テノン嚢下投与など）
- ・ ボトックス治療（眼瞼痙攣、片側性顔面痙攣）
- ・ 特殊コンタクトレンズ処方（円錐角膜など）
- ・ 涙点プラグ治療
- その他、眼科疾患全般の診療をしております。



眼科

さかもと よしひろ
部長 阪本 吉広

白内障

眼科で最も多い手術は**白内障手術**です。白内障手術は医療機器の改善もあり、比較的安全に短時間で出来るようになってきています。白内障が原因で視力が低下している患者さんは、手術によって改善する人がほとんどです。最近患者さんの中には、白内障手術は「簡単」で、白内障手術で眼の病気がすべて改善すると誤解されている人がおられます。医師からみると、手術の手順は複雑で、手術の合併症により視力が低下することもあり、決して「簡単」な手術ではありません。手術が問題なく終了しても、他の眼の病気のため、視力が良くなることもあるのです。患者さん一人一人、眼の状況は違いますので、当院では、専門的な経験と知識をもった医師が充分診察した上で説明し、手術の適応を考え、患者さんの納得できる医療をするように心がけております。

現在では、片眼の白内障手術の場合は、1泊入院もしくは2泊入院です（いずれも入院した日に手術をいたします。また、入院中の外泊は可能です）。術後の外来通院は必要となりますが、通院に不安があり、両眼の手術を一度の入院で希望される場合は、6日程度の入院手術も対応可能です。

糖尿病網膜症

糖尿病になると、知らず知らずのうちに糖尿病網膜症が進行している場合があります。視力低下を起こしてからでは手遅れになる場合がありますので、自覚がなくとも糖尿病と診断された時点で、眼科定期検査が必要です。当院では、糖尿病網膜症の状況を、眼底検査もしくは蛍光眼底検査で把握し、**レーザー網膜光凝固**が必要な方、また、出血などを来たして**硝子体手術**が必要な方には、積極的に治療をしております。

網膜硝子体疾患

眼の中の硝子体に出血を起こす病気（**硝子体出血**）や、網膜に病変があり手術治療が必要になった場合（**糖尿病網膜症、黄斑円孔、黄斑上膜**など）、眼球の白目に穴を開けて施行する手術を硝子体手術といいます。現在当院では**25 ゲージ硝子体手術**という0.5mm程度の非常に小さな穴を開けて手術を施行しています。以前の手術よりも小さな穴で手術ができるようになったため、術後の炎症が軽減され、無縫合で済み、手術時間の短縮及び入院期間の短縮が可能となっております。現在、毎週、大阪大学より瓶井准教授が当院で外来診療及び手術を施行しております。

産婦人科 ウロギネ外来

ウロギネとは？

「ウロギネ」と聞いて何かピンとくる方は、ほとんどおられないと思います。女性の骨盤底疾患、いわゆる子宮脱などの骨盤臓器脱や尿失禁などを扱う分野で、英語の urogynecology (urology 泌尿器科 + gynecology 婦人科) が由来です。

日本ではまだ確立されておらず、専門医師も少ない領域です。

産婦人科

かしはら ひろみ

副医長 柏原 宏美

(産婦人科認定医)



骨盤底疾患とは？

女性の骨盤底組織は骨盤内にある膀胱や子宮、直腸を支えています。この骨盤底のゆるみによっておこる病気を骨盤底疾患と呼びます。出産の時に骨盤底が損傷を受けることが最も大きな原因ですが、ほかにも肥満や長時間の立ち仕事、慢性的な咳などもリスクとなります。

骨盤臓器脱は下がる臓器によって、膀胱瘤、子宮脱、直腸瘤と分類されます(図1)。また尿失禁は大きく分けて2種類あり、咳やくしゃみなどおなかに力を入れると漏れる「腹圧性尿失禁」と、トイレに行きたいと思うと間に合わずに漏れてしまう「切迫性尿失禁」があります。

このような骨盤底疾患は決して珍しい病気ではありません。アメリカでの報告では女性が生涯に骨盤臓器脱や尿失禁で手術を受けるリスクが11%とされています。骨盤底疾患は命に関わることはありませんが、不快感や排尿、排便障害を起こすため、生活の質を下げる病気であり、患者さんにとっては大変つらいものです。

図1 骨盤臓器脱の種類



治療方法

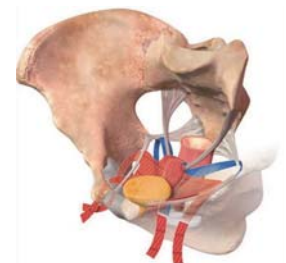
骨盤臓器脱には保存的治療として、骨盤底筋を鍛える体操の指導やペッサリーという腔内器具の挿入を行います。ただし、下垂の程度が重度の場合や保存的治療がうまくいかない時には手術を行います。当院では最新のメッシュ手術を導入し、良好な成績をあげています(図2)。これは2000年にフランスで発表され、2005年に日本へ導入された新しい手術法で、従来の手術方法では再発率の高かった膀胱瘤の治療において大変有効です。また当院ではメッシュ手術だけでなく、子宮摘出術や腔閉鎖術など様々な手術方法から患者さんそれぞれに応じた治療法を選択しています。

尿失禁の治療は、切迫性尿失禁では薬物療法で改善するケースが多く、腹圧性尿失禁では有効な手術療法があり、90%程度で効果が期待できます。

このように骨盤底疾患は、適切な治療により症状が改善する可能性がある疾患なのです。

図2 メッシュを用いたTVM手術

腔からメッシュを挿入し、ハンモック状に骨盤臓器を支える



こんな症状はありませんか？

- 陰部に違和感(挟まっている感じ)
 - お風呂やトイレで腔から何かに触れる
 - 尿が近い ●尿が漏れる ●残尿感
 - トイレに行こうとしたら、急がないと間に合わない
 - 残便感 ●下腹部の違和感(下に引っ張られる感じ)
- これらの症状は骨盤底疾患により生じている可能性があります。

最後に...

尿漏れや骨盤臓器脱は「どうせ年だから仕方ない・・・」とあきらめておられた方が多いのですが、治療でよくなる病気です。お困りの方はぜひ一度ご相談ください。

B型肝炎・C型肝炎の治療について

肝臓の病気の原因に肝炎ウイルスがあります。その中で、B型肝炎ウイルス（HBV）、C型肝炎ウイルス（HCV）は慢性化し、長い年月を経て慢性肝炎から肝硬変・肝細胞癌へと進展していきます。肝炎ウイルスに感染していても、症状がないことがほとんどですので、一度は検診などで感染の有無を調べておく必要があります。

ウイルス性肝炎の治療はこの数年で大きく変わっています。平成23年10月の当院での第48回市民公開講座での内容の一部をお話します。



消化器内科

おした まさひろ
部長 尾下 正秀

内科専門医

日本肝臓学会専門医

B型肝炎の治療

HBVの増殖をおさえることで肝臓の炎症をおさえること、すなわち、ALT・AST値を改善させることを目的とします。ですから、HBVを体から消す治療ではありません。現在、主に核酸アナログ剤（エンテカビル、ラミブジン、アデホビル）、インターフェロン（IFN）の投与が行われます。核酸アナログ剤の6ヶ月の投与で、ALT値はほとんどの方が50 IU/L以下になります（6-7割の方は基準値内に）。ただ、一旦、核酸アナログ剤を投与すると基本的には内服し続けなければなりません。治療に際し、年齢・HBV量・肝組織の進展度などを考慮する必要があり、肝機能が変動しても無投薬で経過をみることもあります。

昨年より、ペグインターフェロン（PEG-IFN：週1回投与のインターフェロン）の長期（48週）投与が保険適応となりました。PEG-IFNの投与により、一旦服用するとやめられなかった核酸アナログ剤を内服せずに、肝炎を沈静化できるのではと期待されます。

C型肝炎の治療

HCVを体内からなくすることが目的です。ALT・AST値が基準値内の方も治療の対象となります。また、治療によりHCVが消失しなくても、ALT・AST値が基準値内になることもあります。現在、IFN（主に使われるのはPEG-IFN）の単独治療、あるいは、内服薬であるリバビリン（RIB）との併用治療が行われています。治療効果はいろんな要因に左右されますが、HCVの型（1型か2型か）・量（多いか少ないか）をまず知ることが大切です。また、年齢・性別・肝組織の進展度も治療効果に影響します。最近、患者さんの遺伝子（IL28）が治療効果に影響することもわかってきました。PEG-IFN・RIB併用療法の成績は、1型・HCV量の多い方で1年の治療で40～50%、それ以外の方は6ヶ月の治療で70～80%の確率でHCVが消えます。ただ、副作用で約10～15%の方が途中で治療を中断・中止されています。

昨年11月にHCVの増殖をおさえる薬（テラプレビル：TER）が保険適応となりました。PEG-IFNとRIBにTERを加えた3つの薬剤を使うと、治療効果の低い1型・HCV量の多い方でも、6ヶ月の治療で60-70%の方でHCVが消えます。副作用（皮膚症状、貧血など）の問題はありますが、治療期間が短く、治療成績も上がり、期待がもてる治療法です。さらに、TERに続き、いくつかの薬の治験がすすんでおり、数年の内に新たな薬が使えるようになるようです。

肝炎の治療は、最近、急速に進んでいます。これらの核酸アナログ剤、IFN治療の医療費については公的な医療費助成制度があります。初めてウイルス肝炎と診断された方、IFN治療を受けたけれどウイルスが消えなかった方、以前に副作用が不安でIFN治療を受けておられない方など、一度、外来のほうで相談して下さい。

医療安全推進月間を実施しました。

当院では、毎年11月25日を含む1ヶ月間を、「医療安全推進月間」と定め、テーマを決め様々なイベントを開催しています。(厚生労働省は1週間で設定)

今年度は、11月16日から12月16日までの1ヶ月間、全職員が安全を守っていくという印としてのリボン

(緑色)をつけ、各所属において医療安全の啓発ポスターの作成、患者さんに対するアンケート調査等を実施しました。

なお、アンケート結果等は、医療安全をより強化推進するための貴重なご意見として、有効に活用させていただくことにしております。

【所属毎の啓発ポスターの掲示】



【患者さん用パンフレット配布による安全推進】



★分娩早期予約割引制度のご案内★

皆様よりご好評をいただいております大阪警察病院独自の「分娩早期予約割引制度」を平成24年度も継続することが決定しました。平成24年4月1日～平成25年3月31日に、当院産婦人科で分娩のご予約をいただきますと、下記の通り分娩費用を優遇させていただきます。

●妊娠5ヶ月(20週)までにご予約の方：¥20,000の割引

●妊娠8ヶ月(32週)までにご予約の方：¥10,000の割引

※当院での標準的な分娩費用(割引適用後)は約42万円となります

※分娩費用は入院期間、夜間・祝日分娩、初産経産等により違いがあります



- ・総合病院ならではの充実の診療体制
- ・女性医師が複数在籍
- ・助産師外来設置※
- ・分娩制限なし
- ・年間総分娩件数約480件



※助産師外来とは・・・

- ・妊婦健診を助産師が行います
- ・お産・育児のことなどお気軽にご相談いただけます
- ・完全予約制で待ち時間がありません



★祝膳でご出産のお祝い★

ホテルニューオータニ大阪の祝膳をご用意させていただきます。

お申し込みは産婦人科外来まで

お申し込みは産婦人科外来でうけたまわります。ご質問なども、下記連絡先までご遠慮なくお問い合わせください。

TEL: 06-6771-6051 (代表)

※オペレーターに「産婦人科外来をお願いします」とお伝えください。